

【 診療科:血液内科】
 【 レジメン登録番号:IG-79 】

〈 Dose-Adjusted EPOCH-R療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)																
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21					
リツキシマブBS	375mg/m ² ※1	div	○																
エトボシド	50mg/m ² ※2	civ	○	○	○	○													
オンコピン	0.4mg/m ²	civ	○	○	○	○													
アドリアシン	10mg/m ² ※2	civ	○	○	○	○													
エンドキサン	750mg/m ² ※2	div					○												
フィルグラスチムBS※3	100 μg	s.c.							○	○	○		○			○	
ブレドニン	60mg/m ²	p.o.(分2)	○	○	○	○	○												

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6~8 コース】

【適応癌種: B細胞性リンパ腫】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
day1	Rp.1	リツキシマブBS 375mg/m ² ※1.4	div(添付文書 参考に)
		生食で10倍希釈	
	Rp.2	5-HT ₃ R blocker 1A	div(全開で)
		生食 50mL	
Rp.3	エトボシド 50mg/m ² ※2	div(24時間かけて)	
	オンコピン 0.4mg/m ²		
	アドリアシン 10mg/m ² ※2		
	生食 500mL ※5		
Rp.4	ブレドニン 60mg/m ²	p.o.(分2)	
day2~day4	Rp.1	5-HT ₃ R blocker 1A	div(全開で)
		生食 50mL	
	Rp.2	エトボシド 50mg/m ² ※2	div(24時間かけて)
		オンコピン 0.4mg/m ²	
		アドリアシン 10mg/m ² ※2	
	生食 500mL ※5		
Rp.3	ブレドニン 60mg/m ²	p.o.(分2)	
day5	Rp.1	5-HT ₃ R blocker 1A	div(全開で)
		生食 50mL	
	Rp.2	エンドキサン 750mg/m ² ※2	div(1時間かけて)
		生食 200mL	
Rp.3	ブレドニン 60mg/m ²	p.o.(分2)	
day6~day21 ※3	Rp.1	フィルグラスチムBS 75 μg	s.c.

※2: 前回コースの結果によって、以下のレベルで投与量を変更する。

薬剤名	レベル毎の投与量							
	-2	-1	(基準)	2	3	4	5	6
エトボシド	50	50	50	60	72	86.4	103.7	124.4
アドリアシン	10	10	10	12	14.4	17.3	20.7	24.8
エンドキサン	480	600	750	900	1080	1296	1555	1866

【参考文献: N Engl J Med 2013;368:1408-16.】

【備考: ※1: 腫瘍崩壊症候群の防止のために、初回はリツキシマブBS抜きのEPOCH療法となることがある。

※3: 好中球が5000以上となるまでノイトロジンを継続する。

※4: 投与30分~1時間前に抗ヒスタミン剤及び解熱鎮痛剤の前投薬を行うこと。

※5: エトボシドの投与量が130mg/bodyを超える場合は生食を1Lに変更する。】